

令和2年度

佐古小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

主体的・対話的に深く学び、自ら「生きる力」を育む子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 鴨頭 俊輔	委員 安田哲也校長・小西敏夫教頭・黒羽建治教務主任 研修主任:西岡秋生 学年主任:清水由香・森田百合 吉田千栄子・乾明子・張壽・横山佳子・坂東秀美
------------------	--

校長

安田 哲也



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全国学力調査・県ステップアップテストでは、平均正答率が県平均以上であり、基礎的・基本的な知識・技能は、概ね身に付いていると言える。 ●学力に個人差が見られる。文章を読み取る力や自分の言葉で表現する力が弱い児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・話の内容を正確に聞き取り、自分の考えを伝えることができる。 ・正しく文章を読んだり書いたりできる。	・朝のスキルアップタイムや家庭学習を活用し、基礎的・基本的な内容の習得を図る。 ・教材教具や板書などを工夫し、「わかる授業」を行うことにより、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・ノート指導を充実させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○相手を意識した手紙や作文、行事の感想などにおいて文章表現力に優れている児童が多い。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて説明したり、友達の考えと比べて自分の考えを表現したりすることに課題がある。	・友達の意見や思いを受けて、理由を明らかにしながら自分の考えを表現することができる。 ・読みとったことやそれに基づいて考えたことを、目的や条件に応じて話したり書いたりできる。	・発表ナビ(話型)を活用し、表現の仕方を身につけさせる。 ・ペア学習やグループ学習などの話し合い活動を充実させる。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動の機会を設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については真面目に取り組む、最後までやり遂げることができる児童が多い。 ●分からないことがあっても最後まであきらめない気持ちや疑問に思ったことについて追求しようとする意欲が乏しい。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・興味のあることを進んで調べたり、自ら課題を設定して自主学習や読書活動に取り組んだりすることができる。	・わかる授業、学ぶことが楽しいと感じる授業を工夫したり、体験的な活動を授業に多く取り入れたりする。 ・家庭学習を工夫し、習慣化を図る。 ・授業では、常に「めあて」を掲示し、見通しをもって学習が進められるようにする。			

令和2年度 学力向上ロードマップ



